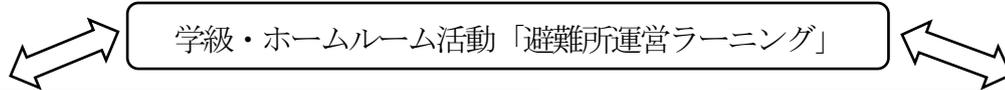


熊本県立翔陽高等学校1年次「防災教育」学習指導案

- 1 題材名 避難所運営ラーニング
- 2 日時 平成30年10月25日(木) 5限(13:35~14:25)、6限(14:35~15:25)
- 3 場所 303講義室
- 4 生徒 1年3組 40名(男子23名、女子17名)
- 5 授業者 教諭 中山 葉月
- 6 カリキュラム・マネジメントの視点



総合的な学習の時間「自己の在り方生き方を考える」

人権・道徳教育「思いやり」

7 ねらい 避難者の視点に立った学習を通して、日頃から地域に関心を持っておくことの重要性に気付くとともに地域社会に貢献していこうとする態度を身に付けることができる。

8 本時の展開(2時間)

時間	生徒の活動	○教師の支援 ◎指導ポイント ◆評価	備考
13:35 13:40	1 心のケアを受ける。 2 平成28年度熊本地震を振り返る。 (ワークシートに記入)	○生徒の心身の状態に十分配慮する。 ○平成28年度熊本地震について「知っていること」を記入させるとともに、資料「平成28年度(2016年)熊本地震を語り継ぐ」を活用し、避難所運営の重要性について確認する。	・スクリーン ・PPスライド ・ワークシート
めあて：どのような配慮をすれば、避難者が安心して過ごせるか考えよう。			
13:55	3 避難所運営ラーニングに取り組む。	○避難所運営ラーニングの概要を説明し、2つの約束を確認する。 ・友だちの意見を否定しないこと。 ・考えの違いを認めること。 (避難所運営ラーニングの進め方参照)	・広用紙 ・付箋紙 ・マスキングテープ ・避難者カード及びライフカード
14:25 休憩	(1)避難所に最低限必要な機能(場所)の配置を考える。 (2)提示された「避難者カード(避難者の情報が書かれたもの)」、「ライフカード(食料・物資が書かれたもの)」の内容を確認しながら、適切な支援になるよう、カードを配置・配付していく。	○受付、通路(避難者の動線確保)、必要なスペースを体育館のどこに配置するか考えさせる。 ○各班のアイデアを共有させることで、思考が広げられるよう支援する。 ○カードの配置について、スムーズな話し合いができていないグループには、避難者スペースを地区や要配慮者で分ける等の視点を与える。	
14:35		○食料・物資の配付の仕方について考えさせる。 ◎対応に正解はなく、避難所の状況を想像し、話し合いながら、よりよいアイデアを生み出していくことが大切であることを伝える。	
15:00	4 避難所運営ラーニングを振り返る。 (ワークシートに記入) (各班の代表者が発表)	◆日頃から地域に関心を持ち、つながりを作っておくことの重要性について考えている。 【思考・判断・表現】(観察 ワークシート) ○各班の代表者に工夫した点や感想等を発表させる。	・ワークシート
15:15	5 心のケアを受ける。	○生徒の心身の状態に十分配慮する。くまモンとヨーガ	・ヨーガプリント
15:20	6 防災学習についてのアンケートを記入する。	○まとめた後に、ワークシート、防災学習についてのアンケートを回収し、カード等の片付けを行う。	・アンケート